グランボア

GRAND BOIS

pour tous les cyclotouristes

すべてのシクロツーリストのために



旅の相棒自転車、ランドナー

RANDONNEUSE
Mon Vélo Mon Ami

2023
Automne

RANDONNEUR FOR CYCLOTOURISTS

旅する自転車、ランドナー

自転車だから楽しい旅。
ランドナーだから気持ちいい道。
50 年以上も前から使い続けられてきたランドナーは
長い年月をかけて旅行用自転車としてのスペックを磨き上げてきました。

旅のノウハウがしっかり詰まった自転車であなたも旅に出ませんか？
まずは、あなたの体と旅の目的にぴったり合った自転車をお作りします。

速く走っても、ゆっくり走っても、
ロングツーリングでも、ちょこっとサイクリングでも、
ランドナーで行く旅は楽しいですよ。



A fun trip because of going by a bicycle.
A fun road because of going by a randonneur.
Randonneurs have been around for more than 50 years,
Over the years, the randonneur has refined its specifications as a touring bike.
Why not go on a journey with a bike that's packed with travel know-how?
First, we build a bike that is perfectly suited to your body and the purpose of your trip.
Whether you want to go fast or slow, long or short, a trip on a Randonneur is fun.

@OYAKATA & A COW CAT ON A PATH TO THE WAKKANAI AIRPORT



INDEX

フルオーダーモデル -Full custom made-

Type Contemporaly – 走り屋さんのための 650B–
Type Vintage –SUS フレームキャンピング–
Type Contemporaly – 還暦グランボアスペシャル –
Custom Products – カスタム製品 –

ブルベレポート -BREVET report-

Brevet – 前野店長の新車 –
BRM722 彦根 400km

レストア施工例 -Restoration-

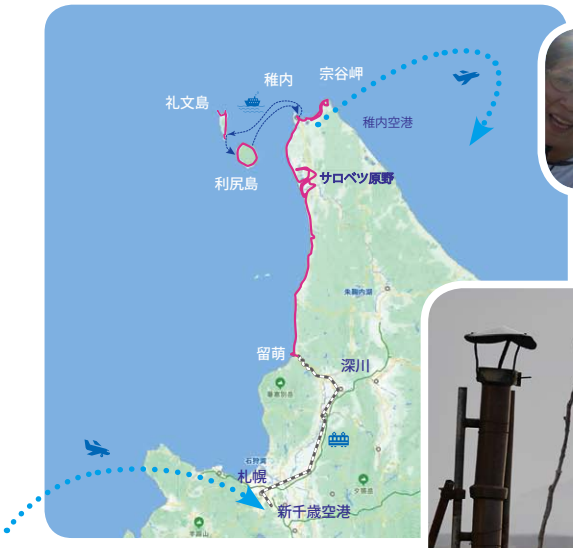
ゴエラン Goeland 1950s
アルプス Alps cyclo randonneur 1968
ゼファー Zephier randonneur 1980s

セミオーダーモデル -Semi custom made-

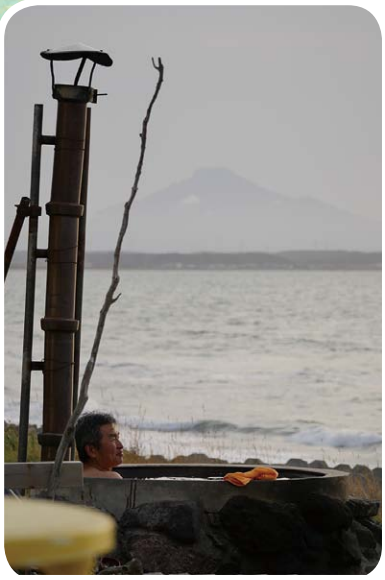
ER の特徴 –What is ER?
作例 –ER Basic・ER New Bike・Modification

ツーリングレポート -Touring report-

札幌 – 留萌 – 利尻・礼文 – 宗谷岬 2022







旅の最終日
宗谷湾に面した五右衛門風呂
から利尻山を臨む

@ ペンション亜留芽利亜

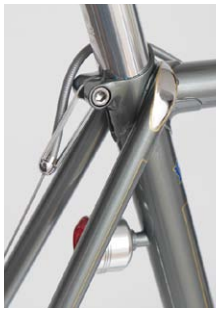
グランボア　フルオーダー



GRANDBOIS Randonneur 650B + SRAM FORCE1

走り屋さんが乗りたくなる 650B ランドナー

これまで 650B サイズの乗り心地に少し満足できなかったオーナー様から
「久しぶりに乗ってみたい」とご注文をいただきました。
納車後にいただいたコメントは「めっちゃ乗りやすい、めっちゃ進む！」
100km 以上の長距離ライドをこなし、激坂も降車せずに走り続けたいとギア比は 1:1 を切る構成になっています。短めのラグワークやスクエア型のキャリアはオーナー様の好みを意識して製作しています。



オリジナルのリアアウター受
専用台座 +LUNE ですっきり



泥除けは GB650ML
ブレーキは NC ミラン



いつもより少し短めの
ラグワーク



鍍金 + 塗装 + 線引き
装飾性の高い仕上です。

クロモリフレーム
CrMo





GrandBois CrMo frame chromed and painted Porsche Silver with Gold lines /Headset GrandBois "Vintage"/BB TANGE/Chainwheel SUNxcd and GrandBois "Cinqfeuille" 36T/Hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois "Papillon" 650B/Tire GrandBois Hetre 650x42B Extra Leger/Derailleur SRAM Force1/Shift lever Dia-Compe/Chain SHIMANO/Cassettte SHIMANO 11-42T/Brake GrandBois "MiLAN" NC/Brake lever SRAM S900/Fender GrandBois GB650ML/Saddle BERTHOUD "ARAVIS"/Seat post NITTO SP72/Handle GrandBois FR410-G/Stem GrandBois CrMo 90mm/Rack GrandBois custom made "SQUARE"/Tail light GrandBois "LUNE"/Bottle cage NITTO "T"/Bar-tape GrandBois Leather

GRANDBOIS GALLERY "FULL-CUSTOM"

グランボア　フルオーダー



GRANDBOIS Randonneur SUS Vintage Camping

祝還暦！メモリアルキャンピング

普段はロードバイクしか乗っていない旧い友人が「リタイア後は自転車で旅に出たい」と 60 歳になる記念に注文してくれました。販売当時に購入し、ずっと大切に保管していたパーツを使用して、たっての希望でステンレス製のキャンピング車を製作しました。
彼の想いが詰まったステンレスパイプを使用した特別な一台は、グランボアにとっても新しい素材へのチャレンジを促してくれた記念の一台となりました。

GrandBois 650B Camping SUS frame + Plated CrMo front fork
BB and Chainwaheel SHIMANO #600/ Hubs GrandBois SFQR/ Rims GrandBois Papillon 650B/ Tires GrandBois Ecureuil 650x38B/ RD Campagnolo Rally/ FD Campagnolo Valentino/ Shift levers Campagnolo Record/ Brakes MAFAC Criterium/ Brake Levers MAFAC promotion/ Fenders HONJO H50/ Saddle FUJITA/Seat post GrandBois+Brompton Pentaclip/ Handle GrandBois FR/ Stem GrandBois Alloy/ Carriers GrandBois custom made SUS/ Light KIMURA

ステンレス
フレーム
SUS



ステンレスフレームの製作には専用の銀ロウを使用します。
塗装はしないので銀は経年と共に酸化し渋いグレーへと変化します。
キャリアもフレームに合わせてステンレスで製作しています。









グランボア　フルオーダー

GRANDBOIS Randonneur 650B + Campagnolo Ergo Power
還暦グランボアスペシャル



少しづつお気に入りの部品を事前にご購入いただき、満を持してオーダーいただいた人生を記念する一台です。ポルシェシルバーに差し色の赤が効果的でとてもエレガントな印象ですが、グランボアの中でも走りを優先させた軽量 38B タイヤ " エキュルイユ " に、サンクフィーユダブルのチェーンリングとカンパのコンポーネント、ブレーキはレーザーミランでしっかり走るランドナーとなっています。SON のダイナモハブはコネクターレス仕様でフレームに内蔵したカーボンブラシを介し、スマートに前後のライトに給電しています。

GrandBois CrMo frame painted Porsche Silver with Red lines
BB TANGE/Head set GrandBois "RINKO"/Chainwheel SUNxcd+GrandBois "Cinqfeuille" 43x27/Front hub SON 28 SL/Rear hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois "Papillon" 650B/Tire GrandBois "Ecureuil" 650x38B/Derailleur Campagnolo Veloce" 9s 13-26/ Brake GrandBois "MiLAN" Laser/Fender HONJO H50CN/Saddle IDEALE #90/Seat post SAKAE P3/Handle GrandBois FR410-G/Stem GrandBois CrMo 70mm/Rack GrandBois M21/Head light B&M IQXS/Tail light KIMURA TL-06D/Bell Sonnet red/Pump Zefal red/ Bar-tape Varnished red cotton

クロモリフレーム
CrMo



GRAND BOIS made by OYAKATA

TOEI Randonneur
TOEI ランドナーオーダー代行

日本が誇るハンドメイドフレーム工房、東叡社のオーダー代行も承ります。スタンダードフレームを持ち込まれての組みつけもお気軽にご相談ください。



グランボア　カスタム製品

ホィール見積もりサイト

GRANDBOIS CUSTOM-CARRIER
カスタムキャリア



自転車にピッタリ合ったキャリアは美しいだけでなく、バランスよく丈夫です。
ご使用予定のバッグと自転車をお持ち込みいただければ、ご希望の形に製作します。

作例

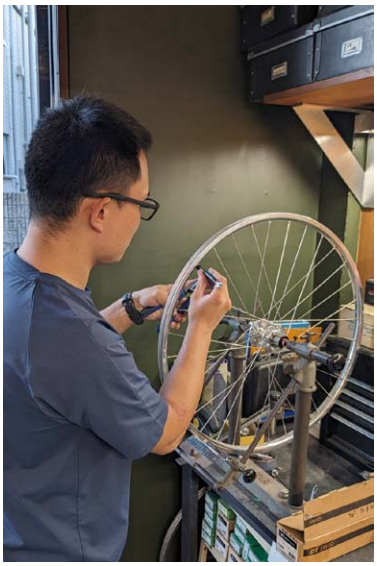

スクエアタイプ


ステンレス製パニア


RH 用リアキャリア


電装コード内蔵フロントキャリア

GRANDBOIS CUSTOM-WHEEL
カスタムホィール



グランボアのリム・ハブを使ったホィール組はもちろん、お手持ちのリム・ハブをお預かりしてのホィール組も承ります。オーナー様のご使用方法や体格などを考慮して適正なホィールを組み上げます。

■ホィール組工賃

・スタンダード　1 本　5,000 円（税別）
・ヴィンテージまたは中古リムを使用する場合　1 本　6,000 円 (税別)

☆ 中古パーツはオーバーホールが必要な場合がございます。オーバーホールの要否とその費用は、パーツを受領したあと状態を確認してから当店よりご案内いたします。

☆ グランボアのハブとリムを一緒にお買い上げの上、ホィール組をご注文いただくとセット割として工賃を 1,000 円引とさせていただきます！

GRANDBOIS CUSTOM-PAINT
塗装

グランボアの塗装は専任の職人が行っています。
スタンダード塗装はもちろん、ヴィンテージ自転車の再塗装、タッチアップ、線引き、手書きロゴなどにも対応します。
お好みの色見本をお持ちいただければその色にお塗りします。

■フレーム & フォーク一式　塗装工賃

・単色　　35,000 円〜（税別）
・メタリック　＋ 5,000 円 (税別)

☆ 再塗装の場合、剥離代が 15,000 円 (税別) 必要です。
小さな凹みの修正や追加の加工なども同時に施行することも可能です。


一言で「青色」といってもいろいろあります。楽しく悩んでください。

グランボア　フルオーダー

速く快適に走る自転車



GRANDBOIS Randonneur BREVET
前野店長の新車

「自分のための自転車を自分で考える。」
フルオーダーの極意は言葉にするととても単純です。
ですが、考えすぎると底なし沼の奥深くをさまよう事にもなりかねません。
今の自転車で物足りないこと、さらに深めたいところ、チャレンジしてみたいこと、
細かく洗い出すことから始めました。

- 平坦な道を効率よく走るための、トップ寄りがクロスレシオなギア構成
- 650 × 42B タイヤに最適化した機敏なハンドリングと泥除けクリアランス
- ロードバイク寄りのポジションを出しやすくする為にリーチを長くする
- メンテナンスを容易にするためテールライトへの電装の簡易化
- W レバー変速（もしくは eTap）でフォーク抜き輪行に対応させる

400㎞以上のブルベでは 2 灯以上のフロントライトの装着が義務付けられています。夜間走行時のトラブル時に対応できるよう 1 つはダイナモ給電、もう一つはバッテリータイプにしています。
テールライトは 4 号車と同じキムラ TL-06D。コンデンサー内蔵で停車後もしばらく点灯を続けます。Edelux2 をオンにすると TL-06D も連動して点灯するので、バッテリーライトのようにスイッチを何か所も操作する必要がありません。

フレーム製作を担当した伊藤アトリエ長のコメント

前野店長が求めたのは、ブルベを走る快適な自転車。つまりは " 強い自転車 " です。
フレームのジオメトリが乗り味に影響することはいうまでもないことですが、特に意識したことは材料のパイプの使い方です。バテット / テーパー パイプをどの位置でカットして剛性を出すか、親方も特に気をつかっているところです。
乗り手の体重、身長、乗り方で必要なフレームの剛性は変わってきます。



泥除けは 650 × 42B タイヤでクリアランスを大きく取ることが出来る GB650ML にしました。36B を想定した設計のフレームに 42 B を入れると当然ですがクリアランスは狭く、林道を走ると泥除けに落ち葉などが詰まりやすかったのです。

オーソドックスなフロント 44-28T、リア 9 速 11-28T の組み合わせです。
グランボア TypeER で最も多く採用している 8 速でも充分なのですが、9 速にした理由はトップから 4 枚目までが1T 刻みになっていたからです。自分の用途に合うカセットが有り、歯数の選択肢が豊富な TA のチェーンリングで使用可能なので 9 速としました。
変速機はフロントがマイクロシフト FD-R42、リアが RD-R47S。シルバー仕上げでグランボアのランドナーでの採用も多い信頼性の高い変速機です。

もっと詳しい解説は QR コードからブログを見てね！

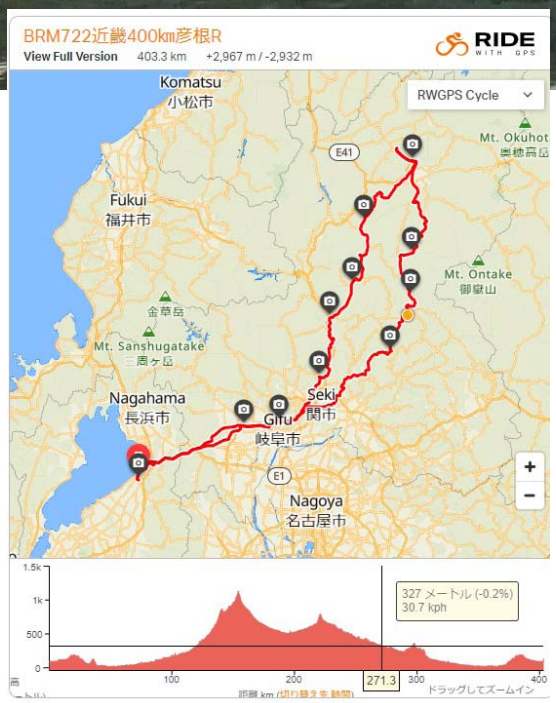
BREVET with Randonneur

BRM722 彦根 400km

100 年前にフランスで初めて 400km ブルベが開催されたことを祝う記念メダルが用意された特別なブルベです。この日は全国各地で 400km ブルベが開催されました。



19：21　65km　美濃市で日没を迎える



JR 彦根駅前を出発して岐阜、美濃、郡上八幡を通って高山へ行き、下呂温泉から彦根に帰る 400km のコースです。コースの最高標高地点は 1000m を越えますが、獲得標高は 400km で 3000m 程度なのでコース難易度としては優しめです。
今回はタ方スタートのブルベなので、暑さ対策として翌日の早い時間にゴールする事を目標にしました。結果、深夜にコースの山場を走ることに。

出来あがったばかりの新車で夏の夜を軽快に走り抜け、目標タイムより 2 時間速い、18 時間 3 分で完走できました。

21：16　JR 郡上八幡駅



23：36　鹿の多い西ウレ峠を登る



路面を照らしているライトはハブダイナモ給電の SON Edelux2。優れた配光で遠くまで見渡せて安心です。明かりの先には今まさに鹿が車道へ飛び出そうとしています。ライトに給電するハブダイナモは SON Delux WideBody。発電機の抵抗が非常に低く、ハブダイナモ特有のデメリットを感じません。

23：54　155km 「西ウレ峠」
本コースの最高標高地点　標高 1130m



フロントライトと連動してシートチューブの TL-06D テールライトも点灯します。コンデンサー内蔵で停車時もしばらくは点灯しているので、暗闇でやむを得ず停車せざるを得ない時でも比較的安心です。

7 月 23 日 1：19　195.8km　PC 1 飛騨古川駅





4：27　下呂温泉で夜明けを迎える

有名観光地もこんな人気のない時間に通り過ぎるだけ。これが旅かと疑問を持たれる方もいるかもしれませんが、これもまた旅。
陽が沈み、月が上り、再び日の出を迎える。その大きな自然の営みと共にペダルを回し続けて辿り着くのはとびっきりの非日常だったりするのです。

グランボア　レストレーション

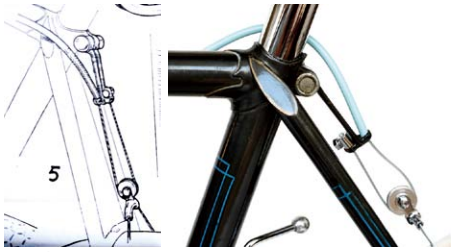
ギャラリーページ

GOËLAND RANDONNEUSE 1950'

1950 年代製ゴエラン



フランスからの直送でレストアを依頼されたゴエランです。
1950 年代製と思しき車体はかなり古ぼけた見た目でしたが、フレーム全体を丁寧にクリーンナップし、個々のパーツはそれぞれの状態に応じたレストアを施しました。いくつかのパーツは新しいオーナーの好みに交換しましたが、その中でも欠品していた特殊なブレーキチドリ (倍力滑車チドリ) は、唯一の資料として現存していたイラストを基に新たにグランボアでレプリカを製作しています。





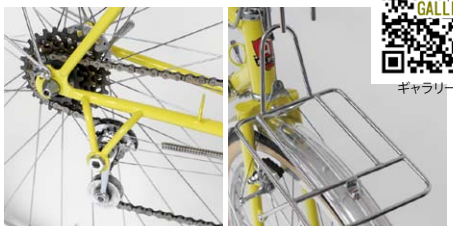




偶然にも今回ご紹介した３台のレストア見本車はすべて同じリアメカ（シクロランドナー）がスペックされていました。
メンテナンス性や変速性能ではなく、唯一無二のこのスタイルが現代もマニアの心をくすぐるようです。

グランボア　レストレーション

ギャラリーページ





ALPS RANDONNEUSE 1968

アルプス シクロランドナー



BEFORE RESTORATION



とても珍しいシクロランドナー仕様のアルプスです。長い間バラバラの状態で保管されていたものを当時の状態へ組み上げるレストアを行いました。
フレームは同色で塗り替え、デカールは現在のブランド管理者であるオオマエジムショさん、泥除けは岐阜のヴェロドレーヴェさんにご協力をいただきました。

Zephyr RANDONNEUSE 1980'

東京サイクリングセンター ゼファー



BEFORE RESTORATION

いくつものレプリカパーツを製作して、ルネエルスの世界を再現しようとしていた東京サイクリングセンターのゼファー。今も昔もヴィンテージマニア憧れの変速機「シクロランドナー」までレプリカを製作していました。今回持ち込まれたゼファーはオリジナルのシクロランドナーで組まれていましたが、チェンホイールやフロントメカ、そしてステムはゼファー製です。

先輩から譲り受け、そのお礼にレストアをしたいと依頼された新しいオーナー様は、レストアの基本作業のほか、よりご自身で使いやすい 30T のリングの製作を希望されました。











SEMI CUSTOM MADE of GRANDBOIS

グランボア　セミオーダー

輪行関連ページ　ER モデル作例ページ　完成車見積もりサイト

セミオーダーとは、フレームサイズとタイヤサイズを規定の中からお選びいただき、
ご予算や使いたいシーンに合わせて仕様を決めていただくモデルです。
フレームカラーは自由、使いたいパーツは持ち込んでいただいてもかまいません。
完成車でのご注文はフレーム関連以外のパーツが 2 割引。ご自身で組み上げたいという方にはフレームと泥除け、キャリアなどの ER 必須パーツのみをセレクトした ER ベーシックをご用意。いずれもフレーム設計が省ける分、大変お得な設定となっています。



イージー輪行

Easy RINKO

グランボアのセミオーダーフレームは泥除けが前後ともとても簡単に脱着できる仕組みが標準装備されています。わずかなステップでロードバイクと同様に輪行することができ、必要に応じて更にコンパクトにできるフォーク抜き輪行も可能です。

イーアール 650

ER650

フレームサイズ
480/500/520/540/560/580/600/620mm
タイヤサイズ　650 × 36B/38B/42B

イーアール 700

ER700

フレームサイズ
510/530/550/570/610mm
タイヤサイズ　700 × 28C/30C

イーアール ベーシック

ER Basic

自転車を組み上げることができる方にはこれ。
グランボアのエッセンスがしっかり詰まっています。
工具や経験がないと難しいと思われる泥除けのセッティングは
済ませた状態でお納めします。

組み上げる楽しさも味わえる。

ERフレーム&フォーク＋以下付属

- ヘッド小物＋前後アウター受
- ER加工済み泥除け＋小物一式
- ERフロントキャリア
- シートピン
- BB 下ケーブルガイド
- センターブルブレーキ　シュエット
- お好きな色に塗装
  （メタリックは税込 5,500 円アップ）

ERベーシックセット

¥ 270,000

（税込￥297,000）

作例 1

ER650 Basic 620mm
市販品ではまずないこのサイズも対応可能。



作例 2

ER650 Basic + 650B wheel
ホィール付きだと更にグランボアが味わえます！



※ホィール代は別途必要です。

カンチブレーキがお好みの方にはカンチブレーキ用の台座でご用意します。他にもテールライト用の台座の追加も可能です。お気軽にご相談ください。

グランボア　セミオーダー

GALLERY
ギャラリーページ

ER650

乗り心地の良い 42B タイヤと上質な革サドル、トリプルチェーンリングにダブルボトルケージ。日東キャンピーに夜間走行も見据えたハイエンドなライティングシステム。ロングツーリングにも安心な旅自転車です。





Frame GrandBois ER650 600mm/Color GrandBois Red/Headset GrandBois RINKO/BB TANGE/Chainwheel SUGINO XD2/Hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois Papillon/Tire GrandBois 42B/Derailleur Microshift/Shift lever SHIMANO/Pedal MKS Sylvin/Brake MR.Control GrandBois SP/Brake Lever DIA-compe GC202Q/Fender HONJO H50C/Saddle IDEALE/Handlebar GrandBois FR410/Stem GrandBois Aluminum 70mm/Front Rack NITTO Campee/Fronte bag GrandBois LL/Light SON28 dynamo+Edelux2/Tail KIMURA TL-06D/Bar-tapes GrandBois Leather/Bottle cage NITTO "T" double

ER650

手元変速に日東キャンピー＋リアキャリア。オールマイティな 36B タイヤで軽快に旅する様子が目に浮かびます。さわやかなブルーと鮮やかな黄色いバーテープが印象的。「旅に出ようよ」と誘ってくれるような一台です。





Frame GrandBois ER650 560mm/Color RH skyblue/Headset TANGE RB661C/BB SHIMANO UN300/Chainwheel SUNxcd/Hub front SHIMANO dynamo/Hub rear GrandBois LFQR/Rim GrandBois Papillon/Tire GrandBois 36B/Rear Derailleur Campagnolo Veloche/Front Derailleur Microshift/Pedal MKS Sylvin touring/Brake Mr.Control GrandBois SP/Brake Lever Campagnolo/Fender HONJO H50CN/Saddle BROOKS/Seat post GrandBois/Handlebar GrandBois PM410/Stem GrandBois Aluminum 70mm/Front Rack NITTO Campee/Light SANYO LED/Tail CATEYE SLR120/Bar-tapes VIVA cotton/Stand ESGE

ER650 Modify

2016 年にお作りした ER650 を部品構成を一新して組みなおしました。シートチューブにテールライトの台座を追加して元色で再塗装。
オーナー様が愛情込めて大切に乗り続ける自転車は新車とは少し違う幸せオーラが漂います。





Fly to Hokkaido with Randonneur

留萌から宗谷へ

旅のテーマはずばり、「いろんな利尻山」。
距離だけでなく、見る角度や、お天気によっても姿を変えるその地の
ランドマークを存分に楽しんできました。
初日の利尻ははるか遠く、うっすらとした傘雲の下にありました。

The theme of the trip was "Various faces of Mt. Rishiri".
We fully enjoyed the landmarks of the west coast of Hokkaido.
On the first day of the trip, Mt. Rishiri was very far away and
under a vague umbrella cloud.



さっぽろ — ふかがわ — るもい





※ JR 留萌線は 2023 年 3 月で廃線となりました。

13:25 発 ANA で札幌到着は 16:33。その日は輪行のまま札幌駅前のビジネスホテルにチェックイン。

翌朝、札幌から深川まで特急ライラックで向かいます。そこから更に JR 留萌線に乗り換えて留萌まで輪行。これで留萌に 9 時前に到着できます。そこで初めて輪行を解き、いよいよツーリング開始です。親方は初めてのステンレスフレームの試走も兼ねて JBT 号で、専務はいつもの親方フレーム 2 号車。



OYAKATA No.50 SUS JBT2022



OYAKATA No.2 CrMo 2017

オロロンライン　ORORON LINE

小樽（※）から稚内までの海岸線の道が主にオロロンラインと呼ばれています。総距離約３８０㎞。

概ね平坦路ですが、海岸線特有のアップダウンが延々と続きます。また、強い風が吹くこともしばしばで、風向きによっては大きく難易度が変わります。ですので、ギリギリのプランを立てず、余裕を持たせたプランニングが楽しいツーリングのコツかもしれません。それに、バイクや普通車だけでなく、大型トラックも結構なスピードで走ってますので、歩道があるときは歩道を走り、脇道があるときは迷わずそちらを選びます。

（※石狩市～留萌間の国道 231 号、留萌～天塩間の国道 232 号、天塩～稚内間の県道 106 号の３区間とする場合もあり。）



オロロンライン





歴史資料館として公開されている小平蘇番屋の前には
道を挟んで立派なモニュメントと北海道を命名したと言われる
松浦武四郎の立像があります。
江戸時代にこの地を旅するってどんなだったんでしょうね。

条件が良ければ対岸の利尻山がとても美しく見えるポイントがいくつもあります。
果てしなく続くかのようなまっすぐの道。
行けども行けども変わらない景色。
だけど、車で通りすぎる旅とはまた違う感動があるはず。



ORORON LINE
There are several points where Mt. Rishiri can be seen very beautifully if the conditions are good.
The straight road that seems to go on endlessly. But it is a different experience from the trip by car drive.

天塩川左岸堤防のダート道　GRAVEL ROAD BY THE TESHIO RIVER

天塩市内からスタートした時、天塩川に架かる「天塩河口大橋」を渡らずに右へ曲がります。すると、天塩川に沿った 14km ほどのダート道に入れます。しばらくは海沿いのオロロンラインと並走するように北上するので、立ち並ぶオトンルイ風力発電所の風車を裏側から眺めることができます。

ランドナーだからいける道、楽しい道。
是非、走ってみてください。

この道は国道 232 に繋がり、国道 40 号へ。そのあと、道道 256 から道道 121 へと進みトナカイ牧場へ向かうことができます。
トナカイ牧場併設の食堂の鴨ラーメン、美味しかったわぁ。





The Otonglui wind farm is another landmark in the area.

サロベツリフレッシュロード　SAROBETSU REFRESH ROAD



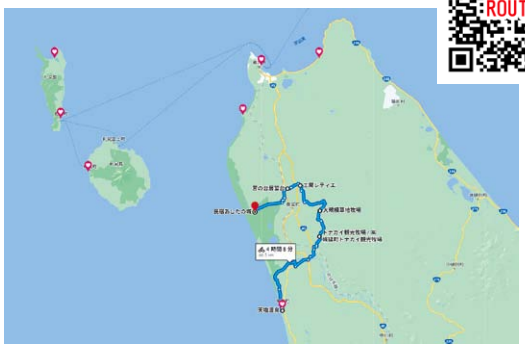
大規模草地牧場　OKIBOSOUCHI GRASS RANCH

その広さは総面積 1500 ha（東京ドーム約 320 個分）！
日本有数の規模を誇る大規模草地牧場です。
ヨーロッパのような丘陵地帯に草を食む牛たちと牧草ロール。
牧歌的風景が視界一杯に広がります。

道道 121 から大規模草地牧場の中を貫くように続く道です。
広大な牧場内を行くこの道は、車の往来も少なくとても開放的。海沿いを宗谷を目指して北上してきたサイクリストを間違いなくリフレッシュしてくれますよ。

下は今回走ったルートです。おススメです！

ROUTE



湿原散歩

木道が敷かれ、歩いて散策できる湿原はあちこちにあります。
いつもは歩けるタイプのビンディングシューズで旅をしていましたが、今回はペダルをフラットペダルに変えて、歩き優先シューズで旅に出ました。
靴底が自転車用に比べて柔らかいのでペダリングに多少のロスは感じましたが、荷物も減らせて、想いのままお散歩できました。木道も傷めないしね。



サロベツ原野　SAROBETSU WILD FEILD

北海道北部の日本海側、稚内市・豊富町・幌延町にまたがり、東西約 5 ～ 8 km、南北約 27 km、面積 20,000 ～ 24,000ha とも言われる広大なサロベツ原野。その中心にあるのは面積 6,700ha を誇るサロベツ湿原です（東京ドーム約 1,400 個分）。この湿原の最大の特徴は、ミズゴケを中心とした「高層湿原」と呼ばれる極めて発達した湿原が平地で見られることです。



留萌から宗谷へ

礼文島 REBUN - ISLAND

BLOG

南北 29 キロ、東西 8 キロの小さな島は利尻礼文サロベツ国立公園の中でも約 300 種類の高山植物が咲くという「花の島」。
冬の厳しい偏西風を受ける西側は断崖絶壁なので、自転車では主に東の海岸線を走ることになります。
最北端のスコトン岬や、スカイ岬、高山植物園、桃岩・猫岩・地蔵岩、北のカナリアパークなど見どころはいっぱい。それにトレッキングも組み合わせれば、たぶん 1 週間でも足りない。
でも、時間に余裕があれば礼文郷土資料館にも寄ってみて。





⇧ 桃岩。島の南西に位置し、アプローチにトンネルあり。

⇦ コンブ漁の漁師と、昼寝をするアザラシの群れ。望遠カメラや双眼鏡があると良いですよ。

⇩ 9 月はすでに草紅葉が始まっていましたが、野花の名残も楽しめます。





利尻島 RISHIRI - ISLAND

BLOG

利尻島は断然サイクリングが楽しい。特に島の北側のサイクリングロードはお勧めです。原野のような草原、小鳥の声が賑やかな美しい渓谷、国立公園ならではの豊かな自然を車の無い環境で安全に満喫できます。
南側は大きくアップダウンを繰り返す海岸線ならではのプロフィールで、周回（約 60 キロ）すると中々走りごたえがありますよ。島のどこからでも利尻山は見えますが、その山容はダイナミックに変化します。

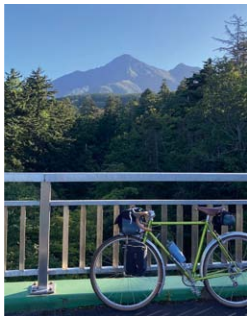














どれも同じ山とは思えないかもしれませんが、どれも利尻山です。(^^)

稚内・宗谷　WAKKANAI & SOYA

BLOG

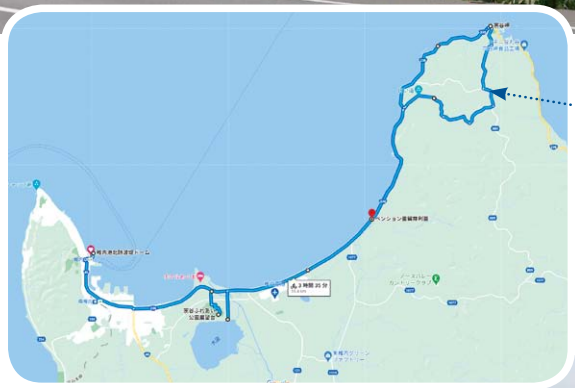
稚内から旅の最終目的地の宗谷岬までは寄り道しても 60km ほど、見所は最北端の宗谷岬くらい？

サロベツ・礼文・利尻と走り終えて「もう、旅のクライマックスは終えた」と思ったら大間違い。水鳥やアザラシがくつろぐ遠浅の宗谷湾はキラキラと日差しを受けて優しいシルエットの利尻山を更に優しい印象に変えました。そんな海を眺めながら走れば岬まではあっという間です。
その先は岬の背後に広がる宗谷丘陵へ上ってみてください。
宗谷岬牧場の中を走る「宗谷周氷河ロード」は素晴らしい道でした。









宗谷周氷河ロード

今から 2 万～ 1 万年前に起こった地球最後の氷河期「ウルム氷河期」に形成されたという周氷河地形を利用した牧場の中をいく道です。その稜線は 20m ～ 200m と大きなアップダウンを繰り返します。道の一部は特産品であるホタテの貝殻を粉砕し敷き詰めた「白い道」も含みます。





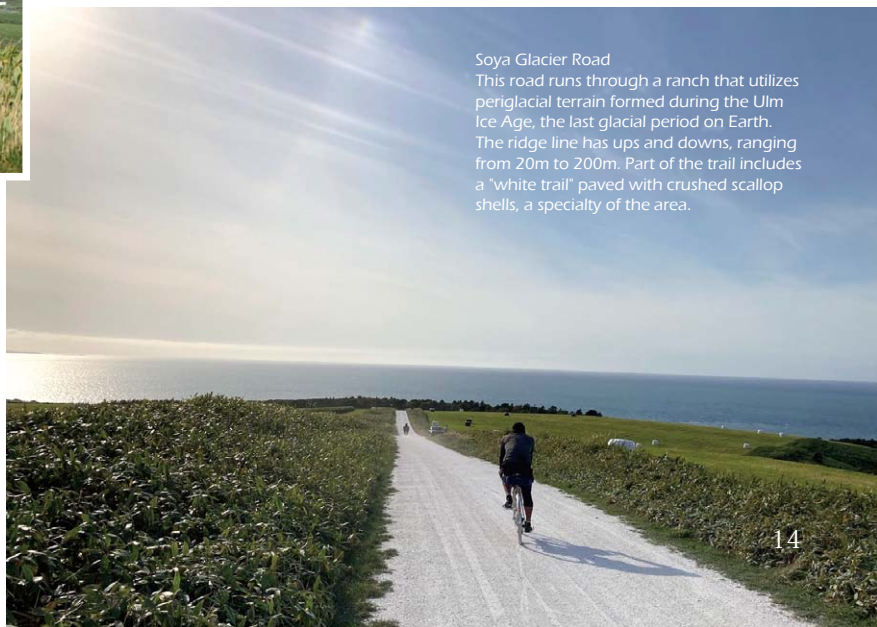


カタログでお伝えできることはほんのわずかです。
更なるツーリングレポートはブログに綴っていますので、是非、各タイトル横の QR コードからご覧ください。

グランボアでは自転車の製作だけでなく、
経験豊富なスタッフが旅のノウハウも伝授します！

どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。(ˆ ▽ ˆ)/

https://grandbois.jp/



Soya Glacier Road
This road runs through a ranch that utilizes periglacial terrain formed during the Ulm Ice Age, the last glacial period on Earth. The ridge line has ups and downs, ranging from 20m to 200m. Part of the trail includes a "white trail" paved with crushed scallop shells, a specialty of the area.

サイクルグランボア株式会社

直営店　アイズバイシクル

〒616-8005 京都市右京区龍安寺塔の下町1-8

Tel: 075-461-0835 Fax: 075-461-0836

ホームページ　フェイスブック　インスタグラム　マップ



@RISHIRI ISLAND, HOKKAIDO VIEWING Mt. RISHIRI